

オリーブの会通信

2016年8月1日

発行：特定非営利活動法人KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL/FAX 087-802-2568

<http://khj-olive.com/>

(隔月発行移行後第8号)



(月下美人)

今年の夏もいよいよ本番を迎え暑い毎日が続きますが、皆様にはお変わりなくお元気のことと存じます。どうぞご自愛ください。

さて、オリーブの会の今年度の事業や諸活動は、香川県及び高松市をはじめ関係機関のご支援もいただき順調に推移しています。今後とも、会員お一人お一人が様々な機会を十二分に生かして学びつつ、相互に声を掛け合いながら、前に向かって歩みましょう。

◎ 今回は、第170回(8月)・171回(9月)の月例会の予定と過去2回の月例会の概況をお知らせします。月例会への出席は会全体と当事者はじめ家族を元気づけるという自覚を持ちたいものです。

第170回月例会ご案内

日 時	2016年8月28日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6 (第1・第2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	☆一部 13:30~15:00 演題「ひきこもり支援における『納得』と『きっかけ』」 講師：一般社団法人 hito. toco 宮武 将大氏 【高松人間力大賞2015】香川ユニセフ協会賞を受賞 15:00~15:15 休憩 ☆二部 15:15~16:30 グループ別話し合い
参加費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円 ・当事者は無料

第171回月例会ご案内

日 時	2016年9月25日(日) 13:30~16:30 (受付:13:00~)
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 (第1・2研修室) 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	☆一部 13:30~15:00 演題「親が変われば子は変わる 果たして親は変わるか」 講師: KHJ 高知県やいろ鳥の会 会長 坂本 勲氏 15:00~15:15 休 憩 ☆二部 15:15~16:30 グループ別話し合い
参加費	・会員1家族 1,000円 ・一般の方 1,500円 ・当事者は無料

第168回月例会(6月26日)の概要

当日は貴重な梅雨期の晴の日で、月例会に先立ち開かれた臨時総会では、定款の一部変更案が提案通り全会一致で可決されました。

すでにご承知の通り、会の代表役員として新しい役職名である「代表理事」である、泉善法・平野明子・松本一幸の3名が協力・共同してその任に当たっています。

◎ ビデオ鑑賞 「第10回KHJ全国大会 in 香川」での基調講演

演題「ひきこもり～親の歩みと子どもの変化～」

講師: 兵庫県立大学看護学部准教授 船越 明子氏

先生は、心理的に真っ暗な暗闇に居るひきこもりの子供を持つ親に解決の道筋がどこにあるのかを5つのStep(1「自分がなんだかわからない」2「こどもの状態を知る」3「子どものつらさを理解する」4「ありのままの子どもを受け入れる」5「人生に新しい価値を見出す」)に分けて説明された。

子供は、段階的に変化していくものであるもので、親の気持ちは出さず見守り、時間を共有し、人生に新しい価値を見出していくものです。親は、子供のお蔭で新しい価値を見出し、子供の成長が見えて人生を共有することが出来る。

「家」は、リラックスできる場所であり、親を信頼できるようになることで子供は社会参加のスタートラインにつくことが出来る。社会参加のための地域資源としては、「居場所」、「働ける場所」の確保が重要となる。現状としてはアプローチできる資源が少ない。家族会はあるが、次につながる所が少ない。

「居場所」は、当事者同士の出会いの場所であり、仲間集団の中で人間関係が出来ること

が大切である。仲間との関係は緩いもので、その場を共有し楽しめる仲間がいることが働くステップにつながる。

「人はなぜ働くのか」というマズローの三角形の要求に「働く」ということは含まれていない。働くとは、人の役に立つ、人から認められることが仕事に結びつくものである。

「家族会」は、学びの多いセルフヘルプのグループであり、お互いが助け合い、真実味のある会話を通じて専門職以外の見方が出来るものである。親の会は、会話を通じて学びあい、新たな現実を見出すチャレンジのできる会であるとともに、相手の内なる会話に耳を傾け、新しい考えを自分が創っていくという意識を持ちながら話をしていけるところである。

「行動」は、過去を変えられないが、現在と未来は変えることが出来るので、今からでも家族会でのコミュニケーションの充実に努めて欲しい。

◎ ビデオ一部鑑賞 第2分科会「就労支援（居場所と中間的就労支援に取り組み）」

NP0法人「わかもの国際支援協会」の横山泰三氏（元ひきこもり経験者）は、32歳の若さとたっぷりの時間を活用して「インターネット広場」を立ち上げ、チャット（パソコン通信でリアルタイムにメッセージのやり取りをすること）を使って在宅ワークの仕事（テレワーク）の拠点を大阪に設け、大阪府の事業を受託することが出来た。

また、「テレワークの意見交換会」を開き、企業からは「納期と品質」が保証されれば、履歴書は関係なく受け入れてくれるということで、ひきこもり当事者も対応がしやすくなっている。今後は、今の事業等を発展させていきたいと考えている。（収録内容の一部）

◎ 「報告連絡事項」

1 「相談業務の状況」（泉代表理事から報告）

4月から6月までの3か月では、約30名の相談があり、高松市の広報を見て来られる方も増えている。相談内容はすぐ解決できるものもあれば、そうでないものもある。相談に来られた方と一緒に解決の糸口を見出し、相談内容によっては行政機関にも相談しながら解決に導いていく。相談に来て良かったという声もあり、期待に応えられるようこれから更に肉付けをしていきたい。その結果、子供たちが変化することを期待したい。

2 「ひきこもりサポーターフォローアップ研修」

平成28年度は、昨年同様、3回（第1回は8月7日）の開催を予定している。

3 「親の学習会の開催」

親の学習会は、KHJ本部が作成した「地域におけるひきこもり支援ガイドブック」（1冊千円）をテキストにしてひきこもりサポーターが中心となり居場所にて開催を予定している。

第169回月例会（7月24日）の概要

猛暑の中でしたが、初めてお招きする橋本先生のご講演を聴きたいという多くの会員が集まり

盛会となった。松本代表理事による諸報告がなされた後、橋本先生から自らのカウンセリングの
実践と研究を踏まえた理論を、時には博多弁を織り交ぜわかり易く話していただき、改めて「ひ
きこもりのこころの理解と支援」の大切さを学ぶことが出来た。その概略は次のとおりです。

◎ 講演「ひきこもりのこころの理解と支援」

講師：香川大学大学院教育学研究科 学校臨床心理専攻 准教授 臨床心理士 橋本 忠行氏

1 内容 (3点)

- ① ひきこもり当事者のこころをどのように理解するか
- ② 理解と支援をつなぐ：2事例の報告
- ③ 「家族から当事者への支援」と「家族への支援」

2 要点 (一部)

① 「ひきこもり当事者のこころをどのように理解するか」

- 「ひきこもりの定義」については、齋藤万比古氏 (2010/厚生労働省ガイドライン) や井上氏 (2007) の論文から、あくまでも「6 か月以上」という状態像であり、様々な原因や経過による。ひきこもりには、一人一人に合わせた理解が必要である。
- 「心理的な特徴」としては、橋本・安岡氏 (2012) 論文の「孤立感」、「自信のなさ」、「人と接することへの怖れ」の他に、「恥」の意識がある。ひきこもり者は、過去の「いじめ」体験などで怯えが残ることがあり、その結果としての回避行動がひきこもりにつながる。いじめは理不尽で、いじめる方が悪い。
- 「ひきこもりの評価」については、齋藤万比古氏他 (2010/厚生労働省ガイドライン) の基本的視点として
第1軸「背景精神障害の診断」 第2軸「発達障害の診断」 第3軸「パーソナリティ傾向の評価」 第4軸「ひきこもりの段階の評価」 第5軸「環境の評価」 第6軸「診断と支援方針に基づいたひきこもり分類」
の6軸に分類されている。

このうち、第1軸から第3軸については、それぞれのケアが進むことで改善が期待される。

第4軸の「ひきこもりの段階の評価」において、「オリーブの会」「ポパイの会」は「ひきこもり段階」「社会との再会段階」のための居場所となっている。その段階では、当事者と家族を理解し、個別的な対応を考えることとなる。

② 「理解と支援をつなぐ」

- ひきこもりの個人療法 (実践) を通じて二つの事例について、主訴、家族、経過、成育歴、来談経過を通じて、見立てと方針を立て、面接を継続した。
その中で、「こころの理解」については、MMPI、Rorschach による個別的な心理アセスメントがなされていた。本人へのフィードバックによる自己理解 (ありのままの自分を受け止めること) も行われ、安全な環境で対話を進めることの大切さが示唆された。

その後、カウンセリングを通じて当事者の求めに応じた対応によって接点を見出すこととなり、自分なりにやってみたいということで事例1は終結した。

*「終結後の状況はどうか」とのH氏の質問に対して、「当事者は3年後カウンセリングに再来した」と答えられた。

- 事例2では、大きな「恥」の経験や本人からのメールによる現状報告を踏まえ、家族の理解と社会との再会へのきっかけづくりとカウンセリングにより恥の意識が少しずつ薄れていった。その結果、正社員としての就労に至った。
「社会との再会」のきっかけは、本人のチャンネルに合えば何でもよい。「知らないどころかの仲間」との関わりを通して、家族の支えがあって元気になる。

③ 「家族から当事者への支援」と「家族への支援」

- 家族は、子供の気持ちを理解するためのサイコロジカルマインド（心理学的に考える）を働かせ、感情を子供にぶつけない（ぶつけるのはカウンセラーに）ことと、本人に恥をかかせない支援（安全感の提供）が必要である。
- 家族は、穏やかに中立的な態度で受け止め、自責的な間違っただけの見方を修正していく。
- 家族は、本人への見方を変えれば「新しい視点」を見つけることができる。
- 当事者と支援者の関係で、社会的な居場所を知ることは力になる。家族の応援が本人を勇気づける。とりわけ、当事者は、運営に携わっていくことにより元気になる。北海道の「レターポストフレンドの杉本賢治氏は、会報の編集者・当事者として10人の専門家に会い、その内容を2015年に「ひきこもる心のケア・ひきこもり経験者が聞く10のインタビュー」（世界思想社）として出版した。

今後、「支援／応援」と「運営」のメタ構造のバランスをとることは大事である。当事者に運営に関わってもらい（手伝ってもらい）ことは、当事者が元気になっていくプロセスとなり「社会との再会」につながると考える。

◎ グループ別話し合い

グループ別話し合いでは、橋本先生に各グループでの種々の意見交換に関わっていただき適切なアドバイスを頂くことが出来ました。また、限られた時間の話し合いではありましたが、親にとってはストレス解消にもなり、有意義な時間を過ごしました。

【2016年度6・7月 居場所活動（ポパイの会）の報告】

居場所では、今、レジンのアクセサリーやマグネットづくりが老若男女でブームになっています。ものづくりの楽しさ、手を動かしながらの会話が、リラックスしてできるのがいいのかもしれない。また居場所に来る目的の一つになっているようです。まだまだ研究、工夫の余地はありますが、参加者全員、一生懸命です。

6月18日のイオン高松での「こころの健康展」への出店に続き8月11日の栗林商店街での高松まつり前夜祭の夜店にも出店します。売り上げは、今後のポパイの会の活動に役立てたいと参加者みんな楽しんでいます。

6月の高瀬でのホテル観賞会には16人が参加しました。7月の花園町の大洋ボウルでのボーリング

大会には新メンバー2人の参加がありました。

7月17日には富山県からの来訪者があり、同時に徳島県から居場所に携わっておられる方、香川県オリーブの会、ポパイの会も9人の参加がありました。今後、他団体との交流、オリーブの会、ポパイの会の方々の居場所利用の頻度が少しずつでも増えてくれればうれしいです。



【2016年8月以降の運営委員会等の予定】

内 容	月	日	曜 日	時 間	担 当
2016年度第5回（8月）運営委員会	8	20	土	13：30～16：30	
2016年度第6回（9月）運営委員会	9	10	土	13：30～16：30	
2016年度第7回（10月）運営委員会	10	15	土	13：30～16：30	
2016年度第8回（11月）運営委員会	11	19	土	13：30～16：30	
ひきこもり相談窓口業務（来所相談も可） （注）第5は休み	8	6,13,20, 27	土	9：00～16：00	泉・川井ほか
※（先ずは☎087-802-2567お待ちしております！）	9	3,10,17, 24	土	9：00～16：00	泉・川井ほか

【2016年度8～9月 居場所活動（ポパイの会）（在宅ワーク）予定表】

※予定変更の場合もあります。

月 日	時 間	内 容	担 当
8月6日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等 フリースペース	丹下、
8月9日(火)	13:30~16:00	パソコン教室、DVD鑑賞、ゲーム、読書、 レジンづくり等、フリースペース	岩田、平野
8月11日(木)	18:00~20:00	高松まつり前夜祭	丹下
8月13日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	丹下
8月20日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	丹下
8月23日(火)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	平野
8月27日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	丹
9月3日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	丹下
9月10日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	丹下
9月13日(火)	13:30~16:00	パソコン教室、DVD鑑賞、ゲーム、読書、 レジンづくり等、フリースペース	岩田、平野、
9月17日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	丹下
9月18日(日)	13:30~16:00	居場所階段のペンキ塗装	平野、
9月24日(土)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	丹下
9月27日(火)	13:30~16:00	DVD鑑賞、ゲーム、読書、レジンづくり等、 フリースペース	平野

*イベントの予定、別チラシを同封しています。ご覧ください。

以 上